

江古田の森だより



東京総合保健福祉センター 〒165-0022 東京都中野区江古田 3-14-19
TEL. 03-5318-3711 FAX. 03-5318-3712
E-mail: egotanomori@mt.strins.or.jp

<http://www.kaigo-egota.com/>



vol. 45

2020年2月発行



今月の表紙

老健

“毎月のレクリエーション”

ユニットで毎月行っている貼り絵のレク参加者は「どの色がいいかなぁ?」と作戦会議…。「ここはこうしたらきれいに貼れるよ」と助け合い、教え合いながら楽しく活動をしています。貼り絵以外でも、絵馬で今年の目標などを元旦に書いて、ユニットに展示しました。

ホームページ随時更新中!



発行 / (社福) 南東北福祉事業団 東京総合保健福祉センター 江古田の森 広報委員会 印刷 / 石井電算印刷株式会社

設立理念

東京総合保健福祉センター江古田の森は「すべては利用者さんのために」の法人団是の下、高齢者福祉及び障害者福祉の地域の拠点として「住み慣れた地域で生涯生き生きと暮らし続けられるため」に、地域の皆様や利用者、家族に「安心と安全」を提供します。

関連施設

- 特別養護老人ホーム 江古田の森
- 介護老人保健施設リハビリテーションセンター 江古田の森
- ケアハウス 江古田の森
- 障害者支援施設(施設入所支援・生活介護) 江古田の森
- 通所リハビリテーションセンター 江古田の森
- デイサービスセンター 江古田の森
- 居宅介護支援事業所 江古田の森
- 訪問リハビリテーションセンター 江古田の森
- ヘルパーステーション 江古田の森
- 森のほいくえん
- 訪問看護ステーション 江古田の森
- デイサービスセンター ゆずりは
- ケアホーム やまゆり

ケアハウス クリスマス

ケアハウスでは、クリスマスの飾り付けとクリスマス会を少し早めに行いました。職員が調理したスイートポテトを食べながらクリスマス話の思い出話に花が咲きました。「昔は家族みんなで集まって楽しかった」「サンタさんは居ないんだよ！旦那がやっていたもの！」「子供は喜ぶけど、親は金が・・・」等盛り上がりました。また「年末だから忙しくてそんな事してらんかった」等高度成長期に過ごした当時の忙しさを感じられる意見もありました。



デイサービスセンター ゆずりは クリスマス会

ゆずりはでは、昨年末にクリスマス会を開催しました。フロアには利用者さんと装飾したクリスマスツリーを飾り、クリスマスプレゼントとして、職員で一つ一つキーホルダーを手作りしました。当日は、クリスマスソングをピアノの伴奏に合わせて皆で歌ったり、職員が扮したサンタクロースがプレゼント



を配り、利用者さんと握手をしたり、写真撮影を行ったりしました。最後は職員によるラインダンスを披露し、職員のダンスを見て、一緒に踊っている利用者さんも多くいらつしました。「素晴らしかったわよ」「職員さんが楽しませようとして工夫してくれているのが伝わる」「プレゼント靴に付けるわ」と言った声が聞かれクリスマス行事を楽しまれました。

今年も よろしくお願いします

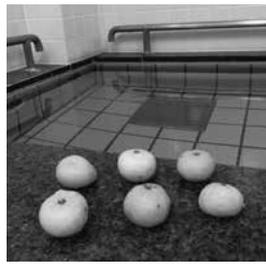
デイサービスセンター江古田の森では1月に、お正月に馴染みのある遊びをレクリエーションに取り入れてみました。百人一首やかるた、すごろく、福笑いなど、さまざま遊びを行い、利用者さんからは「懐かしい！」「百人一首は子どもの頃正月にやる遊びだった！」と想い出話に華が咲きました。さらに、昼食には黒豆やだて巻き、昆布などおせち料理でお馴染みのメニューも添えられ、お正月気分を味わえました！令和2年も良い年になりますように！



ゆず湯&ゆず茶

長時間通所リハビリテーション
通所リハビリでは、昨年の12月24(30日)の期間に、冬至とは少しずれてますが、ゆず湯を実施しました。普段の浴室とは違い、ゆずの浮いて

いる浴槽、ゆずのにおいが立ち籠めた浴室に利用者さんも職員も季節の風情を感じてました。余談ですが、職員の間では浴槽を掃除した時にゆずの種が落ちていたのを見ると年末の風物詩だなあと談笑していました。入浴される利用者さん方以外にも冬至の雰囲気を楽しんで頂くために、おやつ時間にゆず茶を提供させて頂きました。「お替わりちょうだい！」とゆず茶をお気に召して下さった利用者さんから好評でした。今後も利用者さんと季節を感じられる企画を職員一同で考え、実施できるように精進していきます。



書初め

短時間通所リハビリテーション
新年が始まりましたので、利用者さんに書初めをしていただきました。習字を習っていた方が多く、達筆な方がたくさんいました。職員も書いてみたのですが、利用者さんの味のある作品には到底かないませんでした。今回は中でも特に達筆な作品を掲載します。令和2年も良い1年になりますように、職員一同力を合わせて頑張りますので、今年も宜しくお願いします。



特別養護老人ホーム 新年会行事

あけましておめでとうございませう！
江古田の森特養では毎年利用者さんに新年の絵馬を書いていただいております。

絵馬は人によって「願い事」や「目標」と、書く内容が微妙に違ったりするんですが、書いた人の個性が出ていてそこも一興だと思えます。



ちなみに私が所属するユニットでは「健康」について書く方が毎年多いです。次に「食事」関係で、美味しい物を沢山食べたいなどでしょうか。施設ですと食事は大切な楽しみですから、そこに重きを置く方が多いんですね。

皆様は今年何をお願いしましたか？または何を目標にしましたか？願い事や目標はありきたりといえませんが、ありきたりですが、その一年の指針になりますので意外と馬鹿にできませんよ。

年が明けたばかりで忙しいと思いますが、皆さん体調など崩さないようにお気を付けてください！ちなみに僕は新年早々インフルエンザでダウンしてました！ホントに辛いので気を付けて下さいね！



「要介護認定と 要介護区分について」

要介護認定と区分についてお話しします。介護保険サービスを受けるには要介護認定を受ける必要があります。要介護度を定める際の基準は、介護にかかる時間（「要介護認定等基準時間」）や心身の状態が加味され決定されます。

要介護区分については7区分あり、下記の表が平均的な状態になります。（実際には示した状態と一致しないことがあります）

区分	状態区分の平均的な状態
要支援1	掃除や身の回りのことに何らかの介助が必要。排泄や食事は自立している。
要支援2	要支援1の状態であり、移動の動作に何らかの支えが必要である。
要介護1	身の回りの事や排泄・食事等日常生活は自立しているが、移動動作に介助が必要。理解力の低下や運動機能の低下がみられる。
要介護2	身の回りの事全般に介助が必要。移動、排泄、食事等に介助が必要。理解力の低下が見られる。
要介護3	身の回りの事や起居動作、移動、排泄が一人で出来ない。全般的な理解力の低下がみられる。
要介護4	身の回りの事や起居動作、排泄がほとんどできない。移動が一人で出来ない。多くの問題行動や理解力の低下がみられる。
要介護5	身の回りの事や起居動作、排泄・食事、移動がほとんどできない。意志の疎通が困難。ほとんど日常生活を一人で送ることが出来ない。

上記のように大まかに段階別に分類されますが、その日の心身の状態によって実際の認定とは異なる事があります。

江古田の森体験談



障害者支援施設 介護職員 大塚さとみ

江古田の森に就職してもう3年が経とうとしています。入社したての頃は不安がいっぱいで、「大丈夫かな…」と思うこともありました。最初はコミュニケーションがなかなか取れず、利用者さまが何を話されているか聞き取れないことがあり、利用者さまとの関わり方等、不安に思うことがたくさんありました。しかし、先輩方からのアドバイスのおかげで、徐々に信頼関係が築きはじめました。しばらくすると利用者さまからも「ありがとう」と言われたり、手紙をもらうことが多くなりました。

介助についても悩んでいた時期がありました。ある利用者さまの介助が中々上手に行なうことが出来ず、焦りを覚えていましたが、先輩方が親身に教えて下さったおかげで、出来るようになっていきました。私たちは身体に障がいをもつ利用者さまの支援として介助を行なっていますが、全てを私たちが行なう訳ではなく、“利用者さまが出来ることは自分で行う、持っている強みを生かしていき、私たちはサポートしていく”ことが大切だと分かりました。また、今まで難しかった動作が出来るようになっていく姿をみると、感動を覚え、嬉しい気持ちでいっぱいになります。

また、行事では「ハロウィンパーティー」「クリスマス会」外出行事として「ディズニーランド」「花火大会」等があり、施設の中だけではなく、外でも利用者さまと楽しい時間を共有できることがうれしいです。

来年から3年目になり、4月には後輩も入社してきます。今度は私が“アドバイス”をする立場になると思います。3年目の自覚をもち、仕事に励んでいきたいと思っています。

体験談募集!!

感動体験、苦勞体験、など当センターの利用体験談だけではなく、介護体験をした記事等も募集します。このコラムを通じ、利用者や支援者の様々な「おもい」を共有できることで、悩んでいる方の一助となれば幸いです。

引き続き江古田の森での体験談も募集しています。江古田の森広報委員へお気軽にお持ち下さい。

公開セミナーのお知らせ

第152回 『エンド・オブ・ライフ (自分の人生の仕舞い方)について、 考えてみませんか?』

日時/令和2年3月7日(土) 14:00~15:00

場所/東京総合保健福祉センター
江古田の森 7階コミュニティスペース

講師/訪問看護ステーション 江古田の森
看護師 小杉 夏江

内容/終活という言葉聞いたことはありますか? ご自分やご家族の人生の最後のついて一緒に考えてみましょう。

入場無料・申し込み不要

施設方針

平成29年1月1日

東京総合保健福祉センター江古田の森は、地球の環境保全並びに環境負荷軽減を、介護・福祉サービス活動において常に考慮し、顧客満足を維持しつつ、社会貢献していきます。

- 環境問題関連を含む法令、その他の要求事項を遵守して、福祉サービスを提供します。
- 医学的、教育的、心理的、社会的リハビリテーションを提供し、利用者の生活の質を向上させることで、自立と自己実現を目指します。
- 利用者の自己決定と選択を尊重し、利用者の願いや思いを大切に、利用者の気持ちに寄り添った支援をします。
- 職員は、専門性の向上のために不断の努力をし、研修及び研鑽を積みます。
- 介護・支援・福祉サービスにおける環境影響評価を適切に行ないます。
- より良い福祉サービスの実現と環境負荷の軽減のための施設目的・施設目標を設定するとともに定期的に見直しを行い、統合マネジメントシステムを継続的に改善していくことを通じて、福祉サービスの質の向上と環境パフォーマンスの向上を積極的に推進します。
- 福祉サービスの提供にあたって、事故防止、感染防止、汚染防止に努め、施設環境の快適性を推進します。
- 施設方針は、全職員に周知するとともにホームページ等を通じて一般に公表します。